

項目1 専門教科「情報」の学習指導と学習評価の工夫・改善に関する事例

教科 ネットワークシステム
 単元 ネットワークアプリケーションの開発

ホスティングサービスを利用した簡易的な SNS 開発実習を通じて、サーバサイドプログラムとクライアントプログラムならびにネットワークアプリケーションの構成ついて、理解を深めることを目的とする授業の評価事例を紹介する。

前授業までに作成した簡易 SNS を公開し、生徒同士による相互評価を行う。評価はデバックや権利、見た目など事前に指示された項目を中心に行う。評価の入力は全員が共有しているスプレッドシートに入力し、すぐに指摘事項を確認できるようにした。授業の後半より評価の指摘事項をもとに簡易 SNS の改善を図る授業を行った。この授業時の評価は、以下のルーブリックに基づいて実施した。

評価の観点	「十分に満足できる」状況 (A)	「おおむね満足できる」状況 (B)
web ページの公開 (知識・技術)	web ページにアクセスすることができ、適切に表示することができる	適切に表示されていない箇所があるが、web ページにアクセスできる
簡易 SNS の動作 (知識・技術)	簡易 SNS が適切に動作し、コードにも無駄がない	簡易 SNS が適切に動作する
web ページの相互評価 (思考・判断・表現)	評価の観点に沿って、適切に相互評価を行い、改善方法の提案もしている	評価の観点を意識して、相互評価を行うことができる。
指摘事項の改善 (主体的に学習に取り組む態度)	評価の指摘事項に対し、適切な改善が行われている	評価の指摘事項に対し、改善がみられる。

開発実習において、生徒同士の相互評価と評価の指摘事項を改善する授業を展開することで、思考・判断・表現と主体的に学習に取り組む態度の評価について、生徒の活動記録を残し、具体的な評価基準で評価が行えるように工夫した。

項目2 項目1のような優れた取組を普及するための工夫

研究授業の実施
 先生方が授業に気軽に出入りできる環境を作り、日常的に授業の参観を実施している